

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】

癌関連脳梗塞患者におけるヘパリン皮下注射の長期有効性と安全性と継続性

【目的】

悪性腫瘍関連脳梗塞の再発予防として抗凝固療法が推奨され、一般的にヘパリン療法が行われていますが、その有効性や安全性、継続性は不明です。この研究では最長1年間を観察期間とし、有効性、安全性、継続性を調査・検討することを目的とします。

【対象】

2012年7月から2022年3月までに、当院において活動性悪性腫瘍の脳梗塞再発予防として入院の上ヘパリン療法を行った20歳以上の方

【方法】

診療記録から情報を収集し、データシートへ入力します。データシートはファイルにパスワードをかけて電子媒体に保管し、研究代表者に送付します。提出されたデータは、研究代表者の施設で解析・集計されます。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがあります。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は匿名化するため、氏名などの特定の個人を識別できるような情報が外部に漏れることはありません。

【利用する試料・情報】

診療情報：年齢、性別、発症時診察所見、悪性腫瘍、既往歴、喫煙状況、血液検査所見、画像検査所見、脳血管イベントの有無、治療内容等

利用開始日：2023年10月～

【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから2024年3月

【研究代表者】

藤沢市民病院 脳神経内科 山浦 弦平

【共同研究機関】

横浜市立大学附属病院、横浜市立大学附属市民総合医療センター、横浜市立市民病院
横浜栄共済病院、横浜南共済病院、済生会横浜市南部病院

【当院の研究責任者】

横浜市立市民病院 脳神経内科 山口 滋紀

【試料・情報の管理責任者】

横浜市立市民病院 病院長 中澤 明尋

【連絡先】

横浜市立市民病院 〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町 1-1

電話 045-316-4580（病院代表） 脳神経内科 山口 滋紀

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。

また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。